

平成 29 年度 第 1 回  
北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議  
調整会議

(2) 分野別会議の検討課題について

平成 29 年 7 月 18 日 (火)

北九州市保健福祉局

# 北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議

## 平成29年度 第1回分野別会議 主な意見について

### 介護保険に関する会議（平成29年6月20日、市庁舎 大集会室）

- ・孤立化が非常に進んでいる。虐待も、介護する家族が孤立していることにも結びついている。地域で問題が発生したときに、誰が見つけ、結びつけるのかが重要であり、それを整理していくことが必要。
- ・介護サービスの質と人材の確保は切っても切れない。外国人人材を活用している自治体もある。シニアにも積極的に参画してもらえそうな仕組みを考えてほしい。
- ・看取りについて、すぐに救急車を呼ばなくてもいいよう、市民への啓発とともに、施設の方にも慣れていただくことが必要。
- ・在宅で介護をしていますが、看取りをしてくれる医師がいないことには、家族としては救急車を呼ばざるを得ない。
- ・重症化を予防するためには、関係する多様な職種が共通認識をもつことが重要。ケアプランにも違いがでてくる。
- ・介護を担う家族の負担が大きくなっている。介護の必要が生じたときに、支えられないような世帯が増えている。施設に入所するにしても、経済的な負担がかかるので、介護しながらでも働ける職場環境づくりも考えてほしい。
- ・地域そのものが崩壊してきている中で、「地域包括ケアシステム」の構築自体、難しいのではないかと。自治会としても、具体的に何を求められているかわからないところもある。勉強会や啓発が必要。

### 在宅医療・介護連携推進に関する会議（同6月26日、市庁舎 大集会室）

- ・地域では、民生委員や福祉協力員が役割分担をして見守りをしているが、何か発生したときに、地域包括支援センター、病院、ケアマネなど、どこにつながればいいのかわからない。
- ・情報サイトは、誰が、どういう目的で使うことを想定してつくり、どのように活用されているのか。
- ・インターネットを使う人が増えたとはいえ、自分から探しにいかないといけない。情報に手が届いていない人に、どうやって情報を届けるかを考えることも必要。
- ・情報サイトの存在を知らなかった。一般の人が利用するものなのか。
- ・病院にはソーシャルワーカーがいるので、医療関係者でもこの情報サイトのことを知らない人が多いと思う。
- ・連携支援センターが開催する研修会などに参加することで、他職種に接する機会が増え、他職種の中にも入りやすくなった。
- ・連携支援センターは、かかりつけ医と往診医の調整もしてくれるのか。役割が見えない。また、公平性を重視しているということだが、逆に、「なぜこの事業所を選んだか」というアウトプットがあると、透明性も確保できるのではないかと。
- ・連携支援センターの役割を明確にすべき。その上で、課題解決に向け、データをもとに検討をすることが必要。

## 地域包括支援に関する会議（同6月27日、市庁舎 大集会室）

- ・地域での活動の担い手が不足しているということだが、具体的にどういう担い手が不足しているのか。
- ・人材育成については、具体的にどういう課題があって、どう育てていくのか検討が必要。
- ・地域包括支援センターの周知度はあがっているが、必ずしも自分から出向ける人ばかりではない。これからも積極的に出かけ、情報収集してほしい。
- ・地域包括支援センターの周知度があがり、複合的な問題への対応も増加しているようだが、体制はどのようになっているのか。区ごとの状況・実績などのデータもだしていただくと検討材料となる。
- ・訪問支援も増え、長期化する傾向にあるということだが、手をひけるところ、関係機関へつなげるところが見えてくると、検討していきやすいと思う。
- ・今後、高齢者の数が増え業務量も増えると思うので、地域包括支援センターの人員を増やすべきではないか。
- ・ケアプランについて、口腔の視点も入れるようにしてほしい。
- ・ケアマネジメントについて、プランがどう実行されているか、その後の状況（要介護度の改善など）についてのデータをだしてほしい。
- ・元気な高齢者であっても、服薬していることは多い。きちんと服薬することで健康維持につながるが、高齢になると新しいことを覚えることが難しくなり、きちんと服薬ができていないこともある。専門職による地域活動支援では、「薬の飲み方」についても入れていただきたい。
- ・薬のこととあわせ、足（爪）についての啓発も必要。「元気なときからきちんと薬を飲んで、口の中を清潔にし、足（爪）もきれいに保つ」ということを入れて欲しい。
- ・口腔ケアは、嚥下機能の維持につながり、個人の尊厳にとって重要なこと。薬局は人が集まりやすい場所なので、そういう話をする機会を薬局でつくれるとよいのではないか。
- ・薬局は人が集まるので、拠点になるとよいのではないか。

## 認知症支援・介護予防・活躍推進に関する会議（同6月28日、アシスト 交流ルーム）

- ・専門職による地域活動の支援では、市民が自分たちで運営していけるようにするためにはどう関わっていくべきかが課題。通所リハを卒業した後、地域につなげていくためには、多様なコンテンツづくりが必要。
- ・人材については、まだ開発しきれていないところがある。今、参加されていない方をどう参加につなげていくかということが重要。また、課題の解決には多分野の連携が必須。
- ・今の高齢者は「受けること」の意識は強いが、1人で動くことは難しい。まとめ役が必要。
- ・専門職が関わるのには限度がある。裾野を広げるためには地域の人に関わってもらう必要がある。地域の人に動いてもらうためには、もう一步踏み込んで働きかけていく必要があると思う。
- ・地域活動など積極的に動いているのは女性が多いが、男性も行き場を探している。退職後、次のステージに移行するためのノウハウがない。働いているうちから準備をする仕組みや、移行へのサポートなど男性が次のステージを見つける仕組みがあるとよいと思う。
- ・健康マイレージは特典があるが、そのような特典をもっと周知していくとよいのではないか。
- ・（周望学舎では）健康づくりのカリキュラムで、「自分の健康づくり」ということから一歩進めるよう、地域に出て行くプログラムも入れている。
- ・男女では健康感が異なるため、プランを立てるうえではその点を考慮することも必要。
- ・ボランティア活動と地域をマッチングするような仕組みがあるとよいのではないか。
- ・男性は、働くということが一番しっくりくるのではないか。技術の継承などの観点からも、企業に対して、定年延長の働きかけをしていくべきではないか。また、就業中から、（定年後の）次のステップを考えられるように、企業が従業員に情報をながしていけるとよいと思う。

## 次期北九州市高齢者支援計画の基本的な考え方(案)

### 基本目標：人生90年時代へ備える ～高齢者も主役になる地域づくり～

目標	施策の方向性	分野別会議での検討事項	
		分野別会議	
<b>いきいきと生活し、生涯活躍できるまち</b>  「生きがい」や「社会参加」を、「地域貢献」へと展開させることで、より高次の欲求である「自己実現」を果たすことができ、日々の生活がより充実したものとなる。それぞれの能力・持ち味を生かした活躍を推進する。	<b>生きがい・社会参加・地域貢献の推進</b>  介護予防や社会とのつながりの観点から、「生きがいづくり」「社会参加」を支援するとともに、自分の役割・できることを意識した、主体的な行動を促し、「自分自身の生きがい」にとどまらない、「地域への貢献」への展開を推進する。	包括 認介活 認介活	高齢者の日常生活を地域で支える体制づくりの検討 健康づくり・介護予防・生活支援の充実へ向けた検討 高齢者の生きがい・社会参加など活躍の推進
	<b>主体的な健康づくり・介護予防の促進</b>  健康づくり・介護予防に関する正しい知識・手法の伝達・普及とともに、介護予防や生活機能の維持・向上は、日々の生活の中での取り組みが重要になってくることから、専門職の連携とともに、本人の主体的な行動を促進する。	包括 包括 認介活	地域包括支援センターを中心とした相談・支援体制の検討 高齢者の日常生活を地域で支える体制づくりの検討 健康づくり・介護予防・生活支援の充実へ向けた検討
<b>高齢者とその家族、地域がつながるまち</b>  高齢者であっても、一方的に見守られるのではなく、担う役割があることが重要。「見守る側」「見守られる側」に分かれるのではなく、多方面につながりを持ち、それぞれができる範囲で支え合うことを促進する。	<b>見守り合い・支え合いの仕組みづくり</b>  「見守る側」「見守られる側」に分かれるのではなく、多方面につながりを持ち、それぞれができる範囲で支え合う仕組みづくりを推進する。	包括	高齢者の日常生活を地域で支える体制づくりの検討
	<b>総合的な認知症対策の推進</b>  認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる仕組みづくりを推進する。	認介活	総合的な認知症対策の推進
	<b>高齢者を支える家族への支援</b>  高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくためには、介護保険などの公的なサービスとあわせて、家族など身近な人による支えが重要になることから、介護を担う家族が「息切れ」しないような支援に取り組む。	包括 包括	地域包括支援センターを中心とした相談・支援体制の検討 高齢者の日常生活を地域で支える体制づくりの検討
<b>住みたい場所で安心して暮らせるまち</b>  個人の選択による多様な住まい方が確保されるよう支援し、それぞれの状態に応じて、必要な生活支援、介護などのサービスを活用しながら、人生の最期まで安心して暮らせることを目指す。 長期的には、「コンパクトシティ」や「移住」なども見据え、「住み慣れた地域」に限らず、「住みたい場所」の選択肢が広がった場合にも対応できるような環境づくりを進める。	<b>身近な相談と地域支援体制の強化</b>  高齢者やその家族が、気軽に相談できるよう、多職種の連携を図りながら、隙間がない相談支援体制づくりを進める。	包括 医介	地域包括支援センターを中心とした相談・支援体制の検討 在宅医療・介護の連携推進
	<b>介護サービス等の充実</b>  支援や介護が必要な状態になっても安心して生活できるよう、介護保険サービスに加え、多様な主体による生活支援サービス等の充実を図る。	介護 介護 介護 介護	本市におけるサービス水準(介護サービスの見込み量) 介護保険料の水準 人材の定着に向けた職場環境改善の取り組み 介護ロボット等を活用した「先進的介護」の実現
	<b>権利擁護・虐待防止の充実・強化</b>  高齢者の権利や財産を守るとともに、虐待の早期発見から迅速かつ適切な対応・継続的な見守りまでの一貫した取組を推進する。	包括	高齢者の権利擁護の推進
	<b>安心して生活できる環境づくり</b>  多様なライフスタイルを実現できるような環境づくりを推進する。		

## 調整会議での論点メモ

### 1. 分野別会議間での連携・調整が必要となるもの

#### (1) 地域包括支援センターの在り方

**包括** **介護** **医介**

- ・相談窓口としての機能拡充
- ・多職種・多機関連携
- ・「我が事・丸ごと」の包括的な支援体制の整備
- ・介護予防（自立支援）の取り組み（別紙参照）

#### (2) 福祉・介護サービスの担い手の育成・確保、資質の向上

**認介活** **介護**

- ・介護の仕事の魅力の向上、多様な人材の確保・育成
- ・生産性の向上を通じた労働負担の軽減（介護ロボット、ICTの活用など）

#### (3) 地域活動の支援

**認介活** **包括** **介護**

- ・民生委員や福祉協力員、地縁組織（自治会、老人クラブなど）と NPO、ボランティア団体などとのマッチング（既存の活動と新しい活動との融合）
- ・訪問型サービス B（住民主体による支援）・D（移動支援）

#### (4) 市民（地域）と医療のギャップの縮減

**包括** **介護** **医介**

- ・市民や看護・介護職員に対する在宅医療や「看取り」に対する啓発
- ・市民の医療に関する情報格差の解消
- ・在宅医療・介護連携に関する効果的な情報提供

### 2. いずれの分野別会議にも専属しないもの

#### (1) 企業への働きかけ

- ・仕事と介護の両立支援
- ・定年延長、従業員に対する定年後の生活についての情報提供

#### (2) 生活インフラ

- ・住まいの確保、適切な生活支援との連携
- ・移動手段の確保
- ・買い物支援

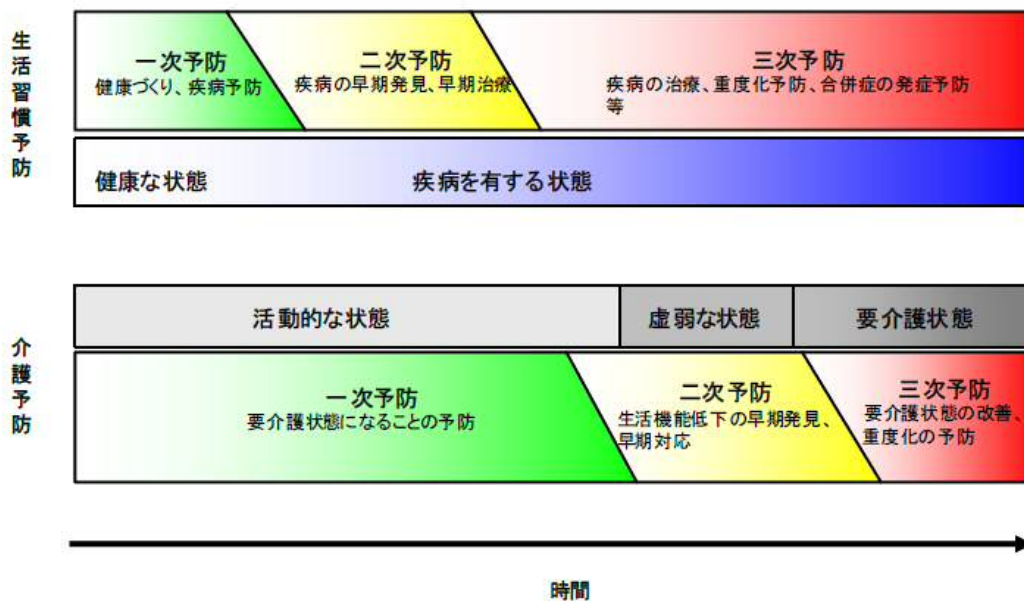
など

**認介活** : 認知症支援・介護予防・活躍推進に関する会議  
**包括** : 地域包括支援に関する会議  
**介護** : 介護保険に関する会議  
**医介** : 在宅医療・介護連携推進に関する会議

## 「介護予防」に関して各分野別会議で意見聴取等を行う項目

区分	意見聴取等を行う項目	
認知症支援・介護予防・活躍推進に関する会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護状態になることの予防</li> <li>・高齢者の社会参加を通じた介護予防の推進</li> <li>・住民運営の通いの場の充実（専門職による地域活動の支援、人材の育成など）</li> <li>・リハ職等を生かした介護予防の機能強化</li> </ul>	
地域包括支援に関する会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民運営の通いの場の充実（場づくりなど）</li> <li>・生活機能低下の早期発見・早期対応</li> <li>・要支援者等の自立支援</li> </ul>	
介護保険に関する会議	要介護状態の改善や 重度化予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービスの質の向上（事業者への研修・公募による施設整備等）</li> </ul>
在宅医療・介護連携推進に関する会議		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種連携の強化によるサービス提供体制の構築推進</li> </ul>
健康づくり懇話会 （健康づくり推進プラン）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防、介護予防</li> </ul>	

## 【参考】生活習慣病予防及び介護予防の「予防」の段階



注)一般的なイメージであって、疾病の特性等に応じて上記に該当しない場合がある。